

い~さと

# 井郷



# ぶらりと見て歩丸

## はじめに

平成13年に「井郷の今昔見て歩き」が発刊されて、その10年後（平成22年）に現在の「井郷便利帳」が刊行されました。それから10年新しい世代や新しく転入された住民も含め井郷地区の世帯数も年々増加してきました。また、道路や新しい施設など地域の環境も少しずつ変化しています。そこで、今回「井郷便利帳」をリニューアルし発行することになりました。編集にあたっては、現行の便利帳の内容を継続しながら、新たに井郷地区によく見られる動物や植物を調べ紹介することにしました。

井郷地区は、トヨタ自動車など市内の自動車産業の発展によりベッドタウンとして人口が増加し、昭和50年には青木小学校から分離して四郷小学校が開校、昭和60年には井上小学校も開校しました。さらに昭和61年には猿投台中学校から分離して井郷中学校が開校し、現在の天道・下古屋・井上・高町・御船町の5自治区からなる井郷地域が誕生しました。平成16年に名鉄三河線の猿投～西中金駅間が廃線になりましたが、愛知環状鉄道や東海環状自動車道もあり、市の中心部にも近く「住みやすさアンケート」では毎回上位にランクされています。

この冊子の編集は、現在の便利帳の編集にあたった編集委員さんを含め新たな編集委員を各自治区から選出いただいて、令和元年5月から編集作業を進めてまいりました。また、(市)猿投支所を始め(市)矢作川研究所並びに(市)自然観察の森や地域の皆様からも助言や資料提供等をいただき刊行することができました。しかしながら、本委員会は必ずしも専門的な知識や情報により十分な分析や検証が行われたものではありませんので、ご理解の上地域の皆さんの生活に少しでもお役に立てていただければ幸いです。

## 目次

* はじめに	1
1 井郷地区の歴史	2
井郷地区史跡・名所・主要施設一覧	3
2 井郷地区史跡・名所の紹介	4
3 井郷地区の動物&植物	16
井郷地区の動物	17
井郷地区の植物	19
4 井郷地区史跡・名所主要施設マップ	23
ウォーキングマップ1	25
ウォーキングマップ2	26
5 井郷地域医療機関	27
6 出版協力店・企業	28
* 編集後記	30

# 1 井郷地区の歴史

## 物のはじまり

この地区の出土品から推測すると、今から1万6千年ほど前の石製の刃物が、上原の丘で見つかり、地区内でも御船の大釜などで、槍に使われた石器や細石器が出土している。双方とも縄文時代より古い時期に、郷土の祖先が生活した足跡が見られる。

## 記録のはじまり

猿投神社に伝わる文書の一つに、元旦から年末まで一年を通し、祭事を記した祭礼記がある。それによると、室町時代の貞和5年(1349)に御船と四郷の名が記録されている。御船は、久安4年(1148)平安時代の終わり頃、御船郷司が猿投神社で写経を始めたとある。四郷は、貞和5年(1349)猿投神社の社殿修理のため、亀首郷と並んで米2斗寄進したとある。

## 江戸時代の村

江戸幕府が樹立された1600年頃、四郷村は9百～千石で内藤氏の挙母領となり、御船村は5百石ほどで本多氏の足助領となるなど、いくつかの旗本知行所に分けられていた。両村とも江戸時代は名古屋と飯田方面を結ぶ信濃道(後の飯田街道)が通過しており、中馬の道とも呼ばれ、馬の背に荷物を載せた人馬が行き交う交通の要所であった。これらの大通りを通称大還と呼んだ。文化8年(1811)3月25日には、幕府の命を受けた地図測量の伊能忠敬が四郷村に宿泊し、翌日には猿投神社まで測量を実施したと記録がある。

## 明治時代の村

明治22年(1889)四郷村、御船村をはじめ近隣の越戸村、花本村、荒井村等が合併し上郷村となり、花本に役場が置かれた。その後、明治39年(1906)に、上郷村と猿投地区の広沢村が合併、猿投村となり、現在支所のある四郷町東畑に役場が置かれ、昭和42年豊田市と合併するまで続いた。



## 井郷の古地図

寛延4年(1751)江戸中期8代將軍徳川吉宗の頃作成されたもの

## 現在の施設等

- 1 井郷交流館
- 2 浦野酒造
- 3 四郷小学校
- 4 井郷中学校
- 5 井上小学校

## 当時の施設等

- 6 水無瀬(唐澤)川
- 7 飯野(柿野)街道
- 8 旧飯田街道
- 9 小原(岩村)道
- 10 籠川
- 11 十王堂(延命寺)
- 12 雲龍寺
- 13 観音堂



## 猿投村道路元標

猿投支所の西側にあり、石製の「猿投村道路元標」と記述がある。村役場の前に必ず建てられ、市町村間の道路原点として各地を往来する人々の目標であった。この道路元標は、猿投村が発足した明治39年以降に建立されたと思われる。

◀猿投支所西隅にある元標

## 井郷地区史跡・名所一覽

下古屋	天道	井上	高町	御船
1 愛環四郷駅	1 天道の山の神	1 水神さんの祠と常夜燈	1 高町ログハウス	1 弘法山
2 お鍛山散策路	2 名木アベマキ	2 名鉄猿投駅	2 高町開拓記念碑	2 山田川緑地・桜並木
3 弁財天の石碑	3 役の行者さんと庚申塔	3 鞍馬山別院弘恵寺	3 豊田市運動公園	3 神明社
4 旧飯田街道と秋葉山常夜燈	4 アゲハチョウ観察公園	4 枝下用水・緑の小路	4 福祉村・豊田福寿園	4 浄厳寺
5 下古屋の山の神	5 水無瀬川桜並木	5 唐沢のお天王さん	5 福祉村・無門福祉会	5 愛宕神社
6 道満さんの祠	6 光輪寺	6 猿投農林高校	6 福祉村・光の家	6 御船城址
7 四郷八柱神社と棒の手	7 旧飯田街道と道標	7 忠魂碑	7 豊田地域気象観測所	7 秋葉山常夜燈
8 延命寺	8 観音堂と弘法さん	8 井上公園	8 高町まちづくり花壇と散策路	8 御船八柱神社
9 延命寺と弘法さん	9 名木エノキ	9 みどりの小径	9 高町稲荷	9 名木ツガ
	10 秋葉山常夜燈と火の見櫓	10 頌徳碑と井上の地名		10 名木アベマキ
	11 雲龍寺	11 一丁目しだれ桜		11 名鉄三河御船駅跡
	12 天道社			12 津島神社
	13 四郷村宝暦義民供養塔			13 口明塚古墳
				14 シデコブシ群生地
				15 シラヒゲソウ自生地
				16 御舟石
				17 滝一号古墳
				18 滝開拓記念碑
				19 水土里創造夢拓
				20 前田(桜台)公園

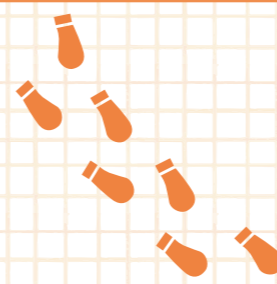
## 井郷地区主要施設一覽

	下古屋	天道	井上	高町	御船
公共施設 福祉施設 学校 社寺 など	●猿投コミュニティセンター ●猿投支所 ●井郷交流館 ●豊田北郵便局 ●北消防署 ●JA 選果場 ●消防団詰め所 ●リサイクルステーション	●授産施設・青い空 ●敬愛苑 ●四郷小学校 ●中央こども園	●猿投台交番 ●井上公園マレットゴルフ場 ●いさと苑 ●井郷中学校 ●井上小学校 ●井上幼稚園	●運動公園マレットゴルフ場 ●すずらんとよた ●リサイクルステーション	●御船こども園 ●薬師庵 ●桂林寺 ●身玉山大定院 ●みふねの家 ●デイサービス寿庵 ●消防団詰め所
◎緊急避難場所 ／避難所 ○自主避難場所	●猿投コミュニティセンター(防災対策地区活動拠点) ●◎四郷小学校 ●◎猿投農林高校 ●○下古屋公民館	●◎四郷小学校 ●◎天道区民会館	●◎猿投農林高校 ●◎井郷中学校 ●◎井上小学校 ●○井上公民館 ●○井上幼稚園 ●○いさと園(社)みのり福祉会	●◎井郷中学校 ●○高町区民会館	●◎井郷中学校 ●◎井上小学校 ●○御船区民会館 ●○北部集会所 ●○南部集会所
コンビニ スーパー など	●ミニストップ四郷店 ●マックスバリュ四郷店 ●ホームセンターカインズ ●エディオン四郷店 ●セリア四郷スマートタウン店	●ファミリーマート四郷店	●メグリア井上店 ●フェルナ井上店 ●ファミリーマート井上店 ●ファミリーマート運動公園店 ●ローソン井上町店		●セブンイレブン御船町店 ●ファミリーマート御船町店
病院 薬局	●斉藤病院 ●鈴木耳鼻咽喉科 ●こじま眼科 ●四郷デンタルクリニック ●萩原接骨院 ●浦野薬局 ●ヘルスパンクヤナセ四郷店 ●V・ドラッグ四郷店 ●マツモトキヨシ四郷店	●清水歯科 ●くらし接骨院 ●あんどろ耳鼻咽喉科 ●おはよう調剤薬局	●早川内科医院 ●かみや歯科クリニック ●村上歯科医院 ●やまだ歯科 ●プライド調剤薬局井上店 ●いさと接骨院 ●しのざわ鍼灸療院		●近藤歯科医院 ●みふね小児歯科医院 ●牧原胃腸科外科(青木)
金融機関	●とよしん猿投支店 ●あいち豊田農協猿投支店		●とよしん井上支店		

# 2

## 井郷地区史跡・名所の紹介

井郷を新たな故郷として暮らしている、約 5,100 世帯、14,000 人の皆さんに、より一層井郷を知り、体感し、井郷の魅力を感じて頂きたい、ここに史跡・名所の紹介を掲載しました。ぜひ、見て、触れて実感してください。



### したごや 下古屋

#### 1

#### 愛環四郷駅

1 四郷町六反田



愛知環状鉄道のルーツは、昭和2年に国鉄岡多線として新設が予定されたが、昭和10年計画は一時中止、その後、建設の機運が高まり、昭和40年再度部分着工した。トヨタ自動車の発展に伴い、昭和51年に岡崎～新豊田間が開通、その後瀬戸～高蔵寺間が開通した。昭和61年新豊田～瀬戸間の開通が近づいた頃、国鉄再建計画が発表され、存続が危ぶまれたが、愛知県が愛知環状鉄道を誕生させ、昭和63年4月1日全区間の運転が開始された。四郷駅は井郷地区西の玄関口として、又おいでんバスの乗り継ぎ駅として住民に利用されている。令和元年に土地区画整理事業の一環として、駅前広場が改修され、現況の景観となった。

#### 2

#### お鍛山散策路

2 四郷町西山



古くは古城の跡と伝えられ、お鍛社を祀り神聖な山と崇められたと聞く。時世は上り明治末期、お鍛山全体に八十八の祠を造り、弘法さんの石仏を安置した。麓には本堂も造られ大弘法の像を祀った。祭りの日には、境内で甘酒がふるまわれたり、子供相撲や芝居が行われ、近郷近在の人たちで賑わった。第2次大戦中には斜面に多数の防空壕が掘られ倉庫として利用されていた。昭和58年に所有者が外部の人に代わったため、下古屋の弘法さんは延命寺に、天道のものは観音堂に移された。平成13年、荒れ放題になっていたお鍛山の整備を、下古屋自治区でまちづくり活動として開始。散策路の整備、花木の植樹、ベンチの設置等、今では地元の里山として、憩いの場として使われている。

#### 3

#### 弁財天の石碑

3 四郷町宮下河原



籠川は昔から暴れ川といわれるほど、たびたび氾濫がおきていた。そのため、川の東側にあった神社や寺や人家等は、次第に東の台地へと移った。そしてその跡地に、これからは籠川が氾濫をおこさないようにとの願いから、七福神の一人で、治水の神でもある弁財天を祭ったものと思われる。建立の時期は定かではないが、「江戸時代末期から明治の初めにかけてではないか」と言われている。現在、下古屋区民によって毎年春祭りが行われている。

#### 4

#### 旧飯田街道と秋葉山常夜燈

4 四郷町下古屋



下古屋の常夜灯は旧飯田街道沿いに立っており、常夜灯や石仏が少なくなっている現在では貴重な史跡である。この常夜灯が建立されたのは、文政2年10月吉日(1819年)とあり、この頃の飯田街道は、浦野酒造の南を通る現在に近い道筋になっていると、村絵図に記されている。それ以前の1700年代には下古屋を大きく曲がっていた街道が、常夜灯が建てられた1800年代になり新道として変更したと思われ、歴史的価値が高い。



5

## 下古屋の山の神

5 四郷町下古屋



昔から下古屋では、山の神の祠前広場で、旧暦の11月7日に子供たちによる「山の講」の祭りが行われてきた。当日、夜明けとともに祠前に集まり、「おしろこ餅」を山の神に供えた後、前日山積みにした藁枯葉を燃やし、唱歌を歌い、「おしろこ餅」を焼いて食べる子供たちの行事であった。戦後、しばらく途絶えていた「山の講」の祭りは、昭和54年に区民によって再開、毎年12月第1土曜日に行っている。故事によれば、山の神は山を鎮する神で、大山祇（ずみ）の命を祭神とし、春には田の神となって山を下り秋の収穫が済むと山に帰るとされ、五穀豊饒（ほうじょう）の神として崇められている。

6

## 道満さんの祠

6 四郷町下古屋



戦国時代のこと、広瀬の城主三宅右衛門高信に大学という息子がいた。彼は三宅道満と自らを名乗り、花本に住んでいた。そのうち人を傷つけたり殺したりしたため、ついに捕らえられて斬首の刑に処せられた。住民は今まで苦しめられてきたにもかかわらず彼を哀れんで、その首は花本の墓地に、胴体は下古屋の地に祠を作って葬った、と伝えがある。令和2年に現在の位置に移転し、毎年12月に供養祭が行われている。

1

## 天道の山の神

1 四郷町山畑



「山の子」は山の神のお祭りをいい、春には田の神となって山を下り秋の収穫が済むと山に帰るとされ、五穀豊饒の神として崇められている。子供たちの行事で旧暦の11月7日におこなわれ「山の子どんど焼き」ともいい、小学生以上が各戸を回り藁を集め、祠の前に竹を4本たて、その中に藁を一杯詰め込んで、夜明けに火をつけ「おしろこ餅」を焼いて食べる行事。その後燃えた灰を集め、売りに行く。「おしろこ餅」：白米を一夜水に漬けて、すり鉢で搥ってまとめる、藁で「つと：藁の包み」を作って入れる。

てんどう  
天道

7

四郷八柱神社と  
棒の手

7 四郷町東畑



以前は八王子神社と称して、籠川左岸の宮下河原にあった。その辺りの籠川はたびたび氾濫を起こしていたため、明暦5年（1656）に神社はいったん四郷村と茂田の八幡神社に、仮に移されていたが、天保4年（1833）になって現在地に移った。ご神体が天忍穂耳命（あめのほしほみこのみこと）を始め、八柱であることから、明治7年に名称が八柱神社となった。慶長5年（1600）に、尾張岩崎村の城主が伊保村の城主に移された際、岩崎村を発祥地とする棒の手が、伊保村に伝わり四郷村へと伝わった。毎年八柱神社の祭礼には、盛大に奉納されている。

8

## 延命寺

8 四郷町六反田



延命寺は十王山延命寺と称し宗派は曹洞宗、ご本尊は地藏尊様である。寛永7年（1630）浦野溝造、浦野十三両氏の寄進により建立され、当時は十王堂と称され、浦野家一族の礼拝堂として維持管理されていた。昭和15年4月1日愛知県知事宛の宗教結社届けにより、十王山延命寺と改称され現在に至っている。当地に伝わる寛延4年（1751）に作成された村絵図にも現在地に十王堂と記載がある。現在主な行事として、毎年2月4日大般若転読法会、8月4日大施餓鬼法会が行われている。

2

## 名木アベマキ

2 四郷町天道



このアベマキは、昭和45年に豊田市から名木の指定を受けた大樹である。樹齢は100年以上、根回り4mなどと看板に記されている。枝張りの直径を測ると約30mあり、まさに風格のある大木である。このアベマキはブナ科に属し、葉は栗の葉に似ているがやや大きく、葉裏は白っぽい。木肌はコルク質で荒いが弾力に富んでいる。又実はどんぐりより大きくて丸く、大どんぐりと言われている。樹勢老化で枯木が進行する。保安危機のため、2017年に枯木伐採。昔の面影が減少した。

3

役の行者さんと  
庚申塔

3 四郷町山畑



役小角（えんのおづめ）が正式名。奈良時代に山岳を舞台に活躍した呪術（まじゆつ）者である。32歳のとき大和の葛城山に入り、岩窟に孔雀明王を祀って30年苦行して霊力を感じ、山の靈気を地上にもたらし、人の心を清浄するという法力を示した。従って修験道の祖として山岳信仰の緒山に祀られるようになり、また真言・天台宗の寺院にも祭られるようになった。なぜ日飯田街道沿いのこの地に祀られているかは定かではない。庚申塔は、庚申塚ともいい、中国より伝来した道教に由来する庚申信仰に基づいて建てられた石塔のこと。塔の建立に際して供養を伴ったことから庚申供養塔とも呼ばれる。庚申塔の建立が広く行われるようになる頃には、寛永期以降全国に建立された。

9

延命寺の  
弘法さん

9 四郷町六反田



明治末期、お嶽山全体に八十八の祠を造り、弘法さんの石仏を安置した。麓には本堂も造られ親弘法の像を祀った。祭りの日には境内で甘酒がふるまわれたり、子供相撲や芝居が行われ、近郷近在の人たちで賑わった。昭和38年に土地所有者が外部の人に代わった為、下古屋の弘法さんは延命寺の当時の住職仙定尼和尚のご好意により、境内の一部に御堂を建立し祀られた。その後建物の老朽化が進んだため、御堂が新築奉納された。平成29年3月区画整理事業により、現位置に移転された。毎年大師様のご縁日の旧暦3月21日に祭りが行われている。

4

アゲハチョウ  
観察公園

4 四郷町・井上町



この公園は平成7年水無瀬川緑道整備の一環として、アゲハチョウ公園が造成されたが、以後樹木の管理が行き届かず荒廃寸前であった。実情を知った地元である天道、井上、高町の有志約30名が愛護会を結成し、維持管理活動が始まった。公園内の土地は排水が悪く土壌も花木の生育に適していなかったが、市公園課の支援も受け、土の入れ替え、花壇の造成、アゲハチョウに必要な柑橘樹木の植樹等整備が進み、地元で愛される公園になっている。

5

## 水無瀬川桜並木

5 四郷町・井上町



水無瀬川は以前、唐沢川と呼ばれていたが、上流の開拓が進み樹木が伐採され、水がほとんど無くなり今の名で呼ばれるようになった。周りの市街化が進み、昭和58年から河川改修が行われ、運動公園から井上公園まで遊歩道（ヘルスビートコース）として整備された。更に両岸には桜の木が順次植えられ、今では三百本近くの桜並木として、春には地元民を楽しませている。又同時に数箇所の河川敷が公園として整備され、市民憩いの広場として利用されている。井郷中学校前の岸辺には、平成10年PTAの努力により、庄内桜が植樹されている。



# 6

## 光輪寺

6 四郷町天道



明治17年四郷説教所として認可され、説教道場として庶民の集会の場となっていた。同27年に山畑に移築されたが、昭和5年に現在地に戻り、寺号を得て浄土真宗大谷派光輪寺として開寺された。

# 7

## 旧飯田街道と道標

7 四郷町山畑



四郷町下古屋、浦野酒造の南側を東西に走る小道は、名古屋方面と飯田方面を結んだ旧飯田街道（中馬道）の面影を残す井郷地区内唯一の道である。この道は天道へと延び、南北に走る柿野街道と交差している。そこに嘉永3年（1850）に建てられた花崗岩の道標がある。高さ1.5mの角柱に刻まれている文字は今の漢字に直すと「右・伊勢宮名古屋道」「左・善光寺道」、もう一面には「左・岡崎道」と判読される。又この北40mにも道標があったが、現在、豊田市郷土資料館に移築されている。

# 12

## 天道社

12 四郷町山畑



四郷町にとって氏神である八王子社（現在は八柱神社）、天道社（現在は広峰神社と社名が変わり八柱神社に合祀）も四郷の里から郷に成長する過程で創建をみた。とりわけ天道社は韓国境の対馬から信仰が広がっており、九州から東海地方に入ってきた。天道社は真言宗との神仏習合の神であった。祠は昔の天道の公会堂の近くに建っていた。取り壊しの際に住職の意向により、祠は雲龍寺の山門の東に現在保存されている。

# 13

## 四郷村宝暦義民供養塔

13 四郷町山畑



時は江戸時代中頃の宝暦2年（1752）拳母城主内藤丹波守政苗治政下で、築城並びに藩財政増収策の重圧が領内村々にかかり、苦渋の極に置かれた。拳母領村々の代表者飯野八兵衛をはじめ多くの村人が江戸屋敷に向かい税貢租軽減を訴え、苦情が認められ実現をみた。しかし、直訴は大罪で代表者6名が村々の苦難を一身に受け、拳母城で刑場の露と消えた。四郷村からは、小栗紋右衛門、山田林右衛門兩名が尊い犠牲となった。安永8年（1779）27回忌法要に際して雲龍寺境内に供養塔が建立された。現在も、四郷区によって毎年5月に供養が行われている。

# 8

## 観音堂と弘法さん

8 四郷町山畑



明治末期、お嶽山全体に八十八の祠を造り、弘法さんの石仏を安置した。麓には本堂も造られ親弘法の像を祀り、近郷近在の人たちで賑わった。昭和38年に土地所有者が外部の人に代わったため、下古屋の弘法さんは延命寺に、天道は観音堂に安置された。毎年旧暦の3月21日に弘法さんを祀っている方々が祭りをやっている。観音堂は四郷村戸長役場であった。明治22年上郷村への合併で村役場が花本に置かれ、以後、四郷区の集会所として使われていた。

# 9

## 名木エノキ

9 四郷町山畑



名木エノキ（アサ科）。鈴木彦五郎邸、西藪に生育。定かではないが、樹齢90年程。旧飯田街道沿いで育った。（近くの長老の話では子供の頃、小さくて目立たない木であったそうだ。）  
○胸周り：2.60m ○根回り：5.80m ○樹高：20m



# 1

## 水神さんの祠と常夜燈

1 井上町6丁目



明治時代、故井上徳三郎氏がこの地に農地を開拓するに当たり、湧き水を利用してかんがい用の大きなため池を2つ造った。しかし昭和40年代になって宅地化が進み、池は不要となり埋め立てられた。そして昭和57年、3代目の井上区民会館が当地に建造された。その際、池の守り神として祭られていた水神さんの祠と、10丁目の交差点の東にあって当時の新飯田街道から猿投駅への進入路を照らしていた常夜燈が、改修の上当地に復元されたものである。

# 10

## 秋葉山常夜燈と火の見櫓

10 四郷町山畑



天道秋葉山常夜燈は、享和3年（1803年）火伏せの神として秋葉信仰心の厚い地元有志が建立。常夜燈の灯も電灯に変わり、現在「秋葉講」により、安全祈願のため秋葉山本宮への代参が続いている。井郷地区の常夜燈は、下古屋（1816年）、御船・縄手（1857年）、御船・込行（不明）、井上（1932年）に建設されている。火の見櫓は昭和30年（1955年）地元有志16名により建設された。以来、天道の火の見櫓として区民の安全を見守っている。平成21年に診断。塗装を実施し、大切に保存されている。

# 11

## 雲龍寺

11 四郷町山畑



雲龍寺は水月山雲龍寺といい、聖（しょう）観世音菩薩を本尊とした曹洞宗の寺である。この寺は寛永4年（1627）までは衣村（現錦町）にあったが、矢作川の氾濫にあい四郷村寺河原（現宮下河原）へ移転した。その後、籠川の洪水によりさらに高台を求め、明暦2年（1656）になって現在地に移った。今の本堂は大正11年に再建されたものである。

# 2

## 名鉄猿投駅

2 井上町5丁目



大正13年10月、故井上徳三郎氏は当時の三河鉄道（現名古屋鉄道）へ、多額の私財（駅の敷地・駅舎等）を寄付し、拳母駅（現豊田市駅）から猿投駅までの線路延長に成功、その後乗降客が増し、御船に出土していた木節粘土の輸送なども行われていた。平成5年に3代目の駅舎が完成。しかし平成13年、猿投駅以北は線区の合理化のためディーゼルカーによるワンマン運転に変わり、平成16年4月ついに廃線となり猿投駅が終着駅となった。現在の発着本数は1日約140本、1日の乗降客は3,000人を超している。

# 3

## 鞍馬山別院 弘恵寺

3 井上町5丁目



鞍馬山弘恵寺は、本山である京都鞍馬山の別院として昭和21年4月初代住職の蓮尾弘恵師によって猿投駅の西に開山された。本尊は鞍馬寺と同じく、千手観世音菩薩・毘沙門天王・護法魔王尊の3尊である。現在は第2代の住職により、毎月1日と15日に諸祈願祭や先祖供養・水子供養等が営まれている。また大晦日から元旦にかけては、柴灯（さいとう）大護摩の秘法がとり行われ、東海有数の霊場として名高い。

# 4

## 枝下用水 緑の小路

4 井上町12・13丁目



枝下用水の建設工事は明治 20 年に始まり、その後 7 年間を費やして明治 27 年に主な用水路が完成した。用水路の総延長は約 110km、受益面積約 1,595ha となっており、井上地区内の用水延長は約1kmあり、現在においても水田の農業用水として活躍している。昭和35年頃までは用水路が子供達の水泳場として夏場には大変重宝されていたが近年は遊泳禁止となった。用水の管理道は緑につつまれ通行量が少ない事もあり、遊歩道として体力増進・健康維持等に近隣の皆さんから親しまれている。

# 5

## 唐沢のお天王さん

5 井上町12丁目



唐沢のお天王さんは、以前伊藤農場屋敷前の桃畑に祀られていた。大正時代に現在の八柱神社（元八王子神社）との合祀の話があり、下古屋・天道・上原は賛同したが、唐沢地区は古老の言い伝えにより「わしはここを動かさない。東向きで背中を見せているが、お前たちを守るから動かさないでくれ」とのお告げを守り、その後もこの地に祀られていた。平成6年、宅地開発に伴い現在の地に移築し祀られている。

# 10

## 頌徳碑と 井上の地名

10 井上町11丁目



頌徳碑は故井上徳三郎氏の偉業を讃え、大正15年、当時の猿投村が建立した石碑である。碑の表面には「井上真冽（しんれつ）翁頌徳の碑」と刻まれている。真冽は氏の号であり、頌徳は徳をほめ讃える言葉であって、これは当時の県知事の書を彫り刻んだものである。又裏面には当時の県農会長による、井上翁を讃えた碑文がある。井上氏は現在の井上の広い原野を開拓し、猿投農学校や猿投駅の土地を寄付する等の功績を残された方である。昭和11年には、それまでの大字四郷字東山を字井上に改称した。

# 11

## 一丁目しだれ桜

11 井上町1丁目



今より 40 年程前、故安西照男氏が長野旅行の土産として植樹した 1 本である。やや濃い目のピンク色の花で、満開時には華やかで大変美しい景観である。平成 16 年 4 月名鉄三河線北線（猿投駅～西中金駅）の廃線イベントと同時に桜が満開となり絶景ポイントとして県外にも知られる様になった。

# 6

## 猿投農林高校

6 井上町12丁目



明治 39 年 5 月、上郷村花本の民家を仮校舎として生徒数 29 名で開校。その後、大正 11 年、井上徳三郎氏により現在の地に学校用地として提供を受け県立猿投農学校として開校。その後林業科が加わり農林高等学校と改名。現在は環境デザイン科・生活科学科・農業科・林産工芸科の4科に生徒数 582 名が勉学・部活動に励んでいる。

# 7

## 忠魂碑

7 井上町13丁目



昭和6年9月、南満州鉄道爆破事件から満州事変が勃発し、その後、日中戦争、太平洋戦争へと戦いは拡大していった。これらの戦争に当時の猿投村より858名の方が召集され、中国大陸をはじめ北太平洋、東南アジア、インド洋等を転戦されたが234柱の方が武運つたなく散華された。この碑はこの方々の霊に対し衷心より感謝の誠を捧げ永遠に鎮まり給えと祈念するため昭和13年に建立された。平成5年コミュニティセンター建設のため、八柱神社境内の現在地に移設された。



# 1

## 高町ログハウス

1 高町東山



区民の憩いの場として、また高町まちづくり活動の拠点として、平成 17 年 10 月完成『ふれあいの家』と命名した。岐阜白川より間伐材を譲り受け、また地元足助産の間伐材を使い工期は約3年を要した。皆が手を汚し、汗を流し、協力して建てた手づくりログハウスである。毎月の『喫茶高町』や会合、親睦会など幅広く利用され、区民のふれあいの場となっている。

# 8

## 井上公園

8 井上町11丁目



昭和47年の集中豪雨で水無瀬川が増水、めがね橋が決壊、大きな被害を受けた。古老の話によると、その時の災害復旧事業が48～51年にわたって行われ、同時に水無瀬川の流域一帯 4.75haに井上公園が造成された。その後各施設が順次作られスポーツや憩いの場として利用されている。

- 温水プール…トレーニングルーム 167㎡/25m歩行用プール 2コース 子供プール 54㎡/ジャグジー 12㎡ など
- テニスコート…3面 (夜間照明付) ●野球場…1面 (夜間照明付)
- 3マレットゴルフ場…18ホール ●4多目的広場… (フットサル場 1面)

# 9

## みどりの小径

9 井上町11丁目



この施設は、井上区創設70周年を記念して、区民の協力の下に平成17～18年の2年間をかけて、井上公園に隣接する森の中に切り開かれた散策道路として設置された。四季折々に花開く、はなもも・しだれざくら・あじさい・すいせんなど。中でも秋のもみじは素晴らしく、錦秋とはこのことかと実感させてくれる。今も貴重な里山として毎月区民の手で維持整備されている。

# 2

## 高町開拓記念碑

2 高町東山



この碑は高町区創設60周年記念事業として、平成 20 年 3 月完成した。原野だったこの地に人が入ったのは終戦直後で、戦後の食糧増産施策に沿い、20戸が開拓者として入植した。農業とは無縁で、名古屋市や県内外から来た人が多かったが、昭和24年猿投第2開拓農協を設立。大変な苦勞をし成果を挙げていった。主な産物は麦、大豆、スイカ、さつまいも、葉タバコなどから順次果樹、酪農へと変遷していった。昭和48年開拓事業が終了し解散した。

# 3

## 豊田市運動公園

3 高町東山



この運動公園は、屋外スポーツの拠点として、各種大会に対応可能な施設を数多く揃えている。

- 陸上競技場…6,500人 ●野球場…7,500人 (夜間照明付)
- 球技場…2,500人 (夜間照明付) ●体育館…バスケットボール3面
- 弓道場…近的20m/遠的60m ●アーチェリー場…4レーン90m
- ソフトボール場…2,324人 (夜間照明付)
- マレットゴルフ場…36ホール
- その他多目的広場、芝生広場など

4

## 福祉村 福寿園

4 高町東山



寝たきりの状態が続いている方や、日常生活を1人で行うことが出来ない方、家庭での介護が困難な認知症の高齢者等を対象に開設された。又、包括支援センターとして地域の各関係機関と協力し、地域の高齢者の方々の生活を支援している。

- 設立…昭和63年3月
- 敷地面積…9,236㎡
- 入所定員…100名
- ショートステイ…20名
- デイサービス…一般型 45名/認知型 12名

5

## 福祉村 無門福祉会

5 高町東山



障害のある方が地域であたり前に暮らせるよう、障害のある方の就労支援や生活支援を実施している。

- 設立…昭和63年
- 敷地面積…5,038㎡
- 入所定員…40名
- 短期入所…8名
- グループホーム…43名
- 無門カンパニー青い空…60名
- 無門カンパニー…20名

1

## 弘法山

1 御船町込行



明治38年頃、込行の二人の発願者から「御船にも八十八ヶ所の弘法様を祀っては」と呼びかけ、先ず込行中の同意を得、続いて御船村の多数の賛同者を得、込行の山に準四国八十八ヶ所の弘法様を祀ることとなった。素焼きの弘法様八十八体と大弘法様、鯖弘法様記念碑を、篤志家から奉獻され安置されている。弘法堂は明治末期に創建されたが、老朽化してきたため、昭和55年3月込行嶋中の篤志寄付により、堅牢な御堂に改築された。創建以来、この霊場は地元込行の篤志により護持されている。



2

## 山田川緑地 桜並木

2 御船町込行



山田川緑地公園は、平成10年山田川左岸 1.5kmに、治水を兼ねた河川敷公園として整備された。芝生緑地の中には、遊歩道、ビオトープ、多目的広場、駐車場等が設けられている。平成11年この緑地公園を、区民の憩いや健康づくりの場として活用するため、「殺風景な堤防道路を桜並木に」と町内有志がオーナーとなり、205本の桜を植樹した。植樹を機に愛護会を結成し管理、今では桜の名所として町民憩いの場となっている。

3

## 神明社

3 御船町込行



神明社は、御船町込行大久手の高台にあり、古くから住民に「お神明さん」と呼ばれ、親しまれている。祭神は天照皇大神（あまてらすすめおおみかみ）で五穀豊穡、無病息災を祈願している。毎年7月第1日曜日を祭礼日と定め、祭礼日には大勢の住民がお詣りし、子供たちは提灯行列をつくり込行の島中（町内）を練り歩き、お祭りを盛り上げている。また明治から大正の時代には余興として打ち囃子が催されたことされている。平成 22 年鳥居が新設された。

6

## 福祉村 光の家

6 高町東山



身体に重い障害を持つ常時介護の必要な人たちの生活施設。通所、ショートステイの相談支援も行っている。また地域の人達の福祉活動の拠点及び交流の場としても活用されている。

- 設立…平成2年3月
- 敷地面積…5,472㎡
- 入所定員…50名
- 生活介護…54名
- ショートステイ…5名
- 日中短期（短時間）…5名

7

## 豊田地域気象観測所

7 高町東山



全国約850カ所、愛知県20カ所、豊田市に4カ所設置されている気象観測所の一つ。豊田市4つの内1つは高町にあり豊田市のほぼ中央、あと3つは小原・下山・稲武にある。この全国の観測所を繋いだシステムがアメダスの名で知られている。

- 所在地…高町東山
- 標高…75m
- 風速計の高さ…6.7m
- 温度計の高さ…1.5m
- 観測開始…1979年1月9日
- 計測項目…降水量、風向、風速、気温、日照時間

8

## 高町まちづくり花壇 散策路

8 高町東山



平成15年、高町まちづくりの会が発足し最初に行なったのが、この散策路の整備である。池に沿い、林の中を縫うようなコースとなっており、全長は約120m。池の周囲には『ソメイヨシノ』や『花桃』を植樹。数年後には花の名所になることを期待している。池南の花壇には、四季折々の花を植え、また休憩所として東屋を平成18年に建設し、運動公園を散策する人たちに楽しんでもらっている。

9

## 高町稲荷

9 高町東山



元々高町開拓以前から、この地にて苧麻糸を生産していた高田農場内にあったお社を昭和29年頃農場閉鎖時に譲り受け、豊川稲荷よりお札を頂き区の守り神としたのが始まりである。昭和60年にはお社が老朽化のため、区民有志の寄付により新築した。元旦や初午の日には多くの区民が訪れ、五穀豊穡、家内安全を祈願している。

4

## 浄厳寺

4 御船町寺脇



浄厳寺は正報山功德院浄厳寺といい、恵吟（けいぎん）大和尚によって天文元年（1532年）に開山した浄土宗の寺である。本尊は阿弥陀如来、脇座は勢至（せいし）菩薩と観音菩薩である。創建された当時の建物は、茅葺であったが火災にあうなどして何度も改築を重ね、現在の本堂は明治末期から大正にかけて建てられたものである。その後、十三重塔なども完成し多くの檀家を擁する寺となっている。

5

## 愛宕神社

5 御船町洞口



愛宕神社は、御船町洞口に八柱神社の末社として祀られ、祭神は迦具土之命（かぐつちのみこと）で火の神、鍛冶の神とされている。昭和13年10月に八柱神社拝殿改築にあたり、この拝殿を愛宕神社に移築した。又昭和32年8月には、新本殿に建て直し現在に至っている。祭礼は毎年4月の第2日曜日と定められており、愛宕島（愛宕神社を守る地区）の多くの住民により盛大に執り行われている。平成 27 年本殿を建て替えた。

6

## 御船城址

6 御船町島田



御船城は現在の御船町島田三十四番地に位置し、御船川を外堀として利用し築城された平城で、土塁・堀・井戸跡が残っていた。応仁の乱に際して戦功のあった児島右京亮義明が、その戦功により御船・亀首・加納の荘園を領し、文明2年（1470年）に築城したと伝えられている。その後、永禄7年（1564年）の秋、尾参の乱で賊のために城郭は焼かれ、時の城主児島義高は戦死し、その子義光は僧となり千鳥寺第5世住職となった。その後住職は老後、御船町に草庵を建てここに隠棲し、円通庵庚申堂（桂林寺）とした。

7

## 秋葉山常夜燈

7 御船町縄手



安政4年（1857年）11月に御船町縄手に建てられた秋葉山常夜燈は、飯田街道を往復する旅人の夜道の安全と「ここが御船」の印となった。郷内の安全を祈る村人が輪番で灯す灯火は小さな光であったが、人々の心を温め明るくしたものである。私達の祖先は、干害のときの雨乞いは弁天様、火伏せの守り神秋葉神社を信仰し、それらが生活の基礎であった。秋葉山常夜灯は込行にもある。

12

## 津島神社

12 御船町山屋敷



津島神社は、御船町山屋敷の御船こども園に隣接した高台に祀られ、古くから住民に「お天王さん」と呼ばれ親しまれている。祭神は、須佐之男命（すさののみこと）。昭和58年に御船保育園（御船こども園）園舎改築に伴って、現在の位置に移し、新たに本殿を新築した。祭礼は毎年7月に盛大に行われている。

13

くちあげづか  
口明塚古墳

13 御船町口明塚



7世紀に当地域の開拓に関わった古代家族の墳墓である。墳丘の直径15m、高さ3mの円墳であり、西に向かって開口する一室形態の横穴式石室様式である。石室は、奥行4m、高さ2.3m、幅は入口1.7m、中央部1.9mの胴張り形状をしている。大きな開口部が露出していたことが、この一帯の地名「口明塚」（口の開いた墓）につながったとしても不思議はない。

8

## 御船八柱神社

8 御船町宮ノ入



御船町東部の高台に位置し、祭神は天照大神の8人の御子で八柱神社として祀られている。創立年代や由緒などは残されていないが、口明塚に始まり御船川沿いに定住した先人達が集落が大きくなるにつれて、この地に鎮守の神として神社を創建したと言われている。木札による実証として、鳥居が宝暦2年（1752）を始めとして7度改築されている。

9

## 名木ツガ

9 御船町宮ノ入  
(八柱神社境内)

- 胸回り：2m
- 根回り：5.7m
- 樹高：18m

このツガは豊田市名木に165号に指定を受けた大樹である。御船八柱神社本殿東側にあり、地区内では珍しい種類であることから、記念植樹されたものと推察される。

14

## シデコブシ群生地

14 御船町曾輪田



シデコブシは、三重県北勢から岐阜県西濃及び東濃、愛知県北尾張から豊田市を経て、渥美半島までの丘陵地にある湿地とその周辺に生育する。豊田市内では、御船町のほか琴平町などに分布する。世界的にも東海地方に固有な植物である。国では準絶滅危惧、愛知県では絶滅危惧二類に指定され、保全が求められている。落葉広葉樹で高さは5～10m程度、花は3月末頃白からピンク色まで樹木により異なる。花弁が神事で使う四手（シテ）に似ていることからこの名で呼ばれている。

15

シラヒゲソウ  
自生地

15 御船町曾輪田



御船川下流右岸湿地に、昭和46年、市から天然記念物の指定を受けたシラヒゲソウの自生地がある。山地の湿地に生えるユキノシタ科の多年草で、糸状に細かく切れ込んだ花弁を白い髭に見立てて「白髭草」の名が付いたものである。葉は直径2～4センチの円形で、基部は深いハート形をしており、根生葉には長い柄があり、花茎につく葉の基部は茎を抱くようである。花弁5枚は白い花が咲き、卵形で縁（へり）は糸状に細裂する。9月中旬から10月上旬に開花し見ごろを迎える。

10

## 名木アベマキ

10 御船町宮ノ入  
(八柱神社境内)

- 胸回り：3.6m
- 根回り：12.5m
- 樹高：20m

このアベマキは豊田市名木164号に指定を受けた大樹で御船八柱神社境内にある。秋には大きなどんぐりの実をつけることから、遊びに使う子供たちや魚釣りの餌として使う大人が実を拾うのを見かける。

11

## 名鉄三河御船駅跡

11 御船町山屋敷



名鉄三河線駅は、昭和2年8月26日に猿投一枝中間の開通と共に開業し、昭和16年6月1日三河鉄道と名古屋鉄道との合併に伴い、名鉄三河線駅となった。周辺住民にとって通勤通学の貴重な足として重要な位置を占めていたが、モータリゼーションの影響から次第に利用者が減少し、平成16年4月1日に猿投一西中金間の営業運転廃止に伴い廃駅となった。

16

おふないし  
御舟石

16 御船町申原



御舟石は、伝えによれば、ある年洪水があり猿投の神が御舟に乗って御船川を下られた折、2柱は猿投山上にとどまり、1柱はこの地に来られた。この石は神の召された舟であるという。昭和2年三河線工事の折、御舟石が埋められそうになったためか作業員が負傷するなど事故が多発したため、そのまま原位置に保存し「御舟石」の碑を建立した。

17

## 滝1号古墳

17 御船町滝



滝1号古墳は現在地の東約70mの位置にあったが、東海環状道路の建設に伴い発掘調査実施後、材料・寸法等忠実に再現移築された。発掘調査による墳墓の様式や土器等の年代推定から、6世紀中～後期の遺跡であることが明確になった。墳丘は、粘生・しまり共に強い土層と弱い土層を交互に積む互層積み工法がとられていた。滝地区には7基の古墳があったが、原型を留めて現存するのは1号古墳のみである。



# 18

## 滝開拓記念碑

18 御船町滝



滝地区農地開拓事業は、戦時中、食料の自給強化を図るため農地開発営団により昭和16年頃から農地造成が実施され、38戸が入植、人力による開墾が始まった。昭和22年農地開発営団はGHQにより解散させられたため、猿投第一開拓農協を組織し開拓事業を継続、食料増産に励んだ。開拓事業を後世に記憶として残すため昭和47年に記念碑が建立され、翌48年開拓事業が終息し組合も解散した。

# 19

## 水土里創造夢拓記念碑

19 御船町滝



御船町南部地区は近くに御船川(矢作川)があるにもかかわらず小高い丘陵地のため、農作物に必要な水利に恵まれなかった。昭和45年矢作川総合農業水利事業により、農業用水確保などを目的に矢作川にダムから取水する岩倉用水が完成し、矢作川の水が農業用水として活用できるようになった。これにより当地では野菜類、果樹等の農産物が作られるようになり、収穫増大に繋がった。

# 20

## 前田(桜台)公園

20 御船町申原



前田公園は昭和9年に豊田市越戸町出身の実業家、前田栄次郎氏によって、この地の観光地となることを目指して作られた公園で、桜の名所として御船町側からは桜台公園として親しまれた。矢作川に面した山の南斜面に立地し、公園の中央には120段の階段が聳え、階段の頂上部分には聖観音菩薩像が祀られている。その途中には勘八稲荷大明神・前田家記念堂があり、幾つかの細い散策歩道が設けられている。それらの道中には数体の石仏が祭られているが、第2次大戦の最中、銅像等は軍用に供出され戦後においても灯籠や仏像群が持ち去られたり破壊されてしまったものが多い。



# 3

## 井郷地区の動物 & 植物

井郷地区には多くの史跡や名所のほかにも豊かな自然の中に沢山の動物があり、数多くの植物があります。そこで、これまでの史跡・名所・施設の案内に加え、この地域に多く見られる動物や植物を調べて紹介します。

分類は、動物に関しては昆虫から魚や鳥のほか鹿やイノシシなどの大型動物まで多種類見られますが、できるだけ身近に見られる動物を川や田園などに区分けしてまとめました。また、植物についても草花から樹木まで幅広くありますが、地区ごとによく見られる代表的な植物をまとめました。

なお、内容はできるだけ正確な資料を元にまとめましたが、専門書ではありませんので、生活の中で少しでもお役に立てていただければと思います。



# 1 川の動物



カワセミ

くちばしが長くて、頭が大きく、頸、尾、足は短い。



カルガモ

しなやかで細長い胴体に短い四肢をもつ。



ゲンジボタル

前胸部の左右がピンク色で中央に十字架形の模様がある。



アキアカネ

腹部が赤く、ナツアカネとともに赤とんぼと呼ばれる。



カワウ

全身がほとんど黒色で、くちばしの根元が黄色い。



カワムツ

背中が黄褐色で、体側には太い紺色の帯がある。



オオアメンボ

足先を水面につけて表面張力で浮く。



オイカワ

シラハエとも呼ばれる。オスは凹凸の追星が現れる。

# 2 水田の動物



アマサギ

頭部や首はオレンジ色の羽毛に被われている。



トノサマガエル

茶褐色から緑色、メスは灰白色で背中に黒い斑紋がある。



オンブバッタ

緑色または茶褐色で、オスがメスの上に乗る。



ツチガエル

背中に大小のイボ状突起が多々並ぶ。



アオサギ

頭部は白く、後頭に黒い冠羽がある。



ハイイロゲンゴロウ

黒色で流線型の体型で活発に泳ぎ回る。



イナゴ

体は緑色で側面には黒色の線がある。イネ科の葉を食べる。



アメリカザリガニ

赤色で大きなハサミを持つ。エビガニともいう。

# 3 林の動物



ムクドリ

茶褐色で頬が白く嘴と足は黄色い。留鳥。



コクワガタ

広葉樹の朽木や樹液の出る場所にいる。夜行性。



ゴマダラカミキリ

手でつかむとキイキイと威嚇音を出す。顎がよく発達している。



ウグイス

春になるとホーホケキョと鳴く留鳥。春告げ鳥。



カブトムシ

オスの頭部には大きな角があり、胸部にも小さな角がある。



カナブン

頭が四角く金属光沢がある。



シマヘビ

淡黄色の体に4本の縦縞がある。無毒。



オオスズメバチ

頭部は黄色、腹部は黒色と黄色の縞模様。

# 4 畑・住宅地の動物



アゲハチョウ

大型で黒と黄色のまだら模様。ミカン科の植物を食用とする。



ツバメ

初夏に軒先などに巣を作る。昆虫などを空中で捕食する。



ニホントカゲ

縦縞があり、尾は青色。危険が迫ると尾を自切する。



ギンヤンマ

オスの体は黄緑色をしていて、ホバリングをする。



モンシロチョウ

全体的に白っぽく、翅に斑紋がある。



メジロ

目の周りが白く緑色がかかった暗褐色、花の蜜を好む。



アブラゼミ

体は黒っぽく、翅は茶色。



キジ

頭部は緑色で目の周りが赤い。ケーンと鳴く。

クヌギ

ブナ科の落葉高木 (15~20m)。樹皮は灰褐色のコルク状で、実は大い(約2cm)。



1 下古屋の植物



コナラ

ブナ科の落葉性広葉樹。花は4~5月に咲き、秋には実(どんぐり)が熟す。



クログネモチ

モチノキ科の常緑高木、自然状態での成長は10m程度。縁起木として庭木に利用される。



ケヤキ

ニレ科の落葉高木 (20~30m)。4~5月に花が咲く。家具や建築の用材に使われる。



桜並木

桜を主体とした植栽を10年前から行い、地域住民に四季を通して潤いの散策路や憩いの場になっている。



シキザクラ

落葉高木 (10~15m)。4月に花と葉が同時に出る。四季に咲くサクラの意味。



シデコブシ

モクレン科の落葉小高木、ヒメコブシともいう、3~4月に花が咲く。

イロハモミジ

ムクロジ科の落葉高木 (10~15m)。4~5月に花が咲く。別イロハカエデともいう。



3 井上の植物

シャリンバイ

バラ科の常緑低木 (約1m)。5月にウメに似た花が咲き、葉が車輪状に出る。



マサキ

ニシキギ科の常緑低木 (2~3m)。6~7月に花が咲く。いつも青いので真青木という。



アベマキ

ブナ科落葉高木。コルククヌギ、ワタクヌギともいう。木肌はコルク質で弾力に富む。

モミジバフウ

フウ科の落葉高木。別名アメリカフウという。樹皮は褐色で4月頃花が咲く。



2 天道の植物



ショウカワザクラ

バラ科の落葉高木、3~4月に花が咲く。高さは7~10mになる。実は少ない



エノキ

アサ科の落葉高木。枝が多く、枝ぶりは曲がりくねっている。



ナギ

マキ科の常緑高木 (15~20m)。5~6月に花が咲き、葉が広く並行脈。



トウジュロ

ヤシ科の常緑小高木。ワジュロよりも樹高・葉面が小さく、先端が下垂しない。



ワジュロ

ヤシ科の常緑高木。最大10m程になる。シュロ皮から多くの加工品ができる。



ニシキギ

ニシキギ科の落葉低木、庭木や生垣、盆栽にされることが多い。





**カツラ**  
カツラ科の落葉高木。20~30mにもなり5~6月に花が咲く。



**シダレヤナギ**  
ヤナギ科の落葉高木。別名イトヤナギともいい、5~10mで、3~4月に花が咲く。



**ラクウショウ**  
ヒノキ科の落葉針葉高木。別名はヌマスギという。湿潤地に適し、4~5月頃花が咲く。



**クマザサ**  
イネ科。40~100cm。葉のふちが白く隈取られている。観賞用にも栽培されている。



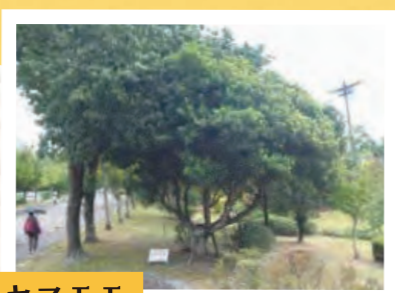
**ネズミモチ**  
モクセイ科。黒い実をネズミのフンに見立てている。



**トチノキ**  
ムクロジ科の落葉高木。花穂が大きく真っ直ぐ20~30m伸びる。5~6月頃に花が咲く。



**クロガネモチ**  
モチノキ科の常緑高木。縁起木として知られる。若い枝や葉柄が黒褐色である。



**ヤマモモ**  
ヤマモモ科の常緑樹。雌株は20m程にもなる。山に生え、モモのような実をつける。



**ナツツバキ**  
ウバキ科の落葉高木(約10m)。別名シャラノキ(沙羅樹)ともいう。6~7月頃花が咲く。



**ユリノキ**  
モクレン科の落葉高木。別名ハシラノキ、レンゲボク、チューリップツリーともいう。



**シキザクラ**  
バラ科の植物で、桜の園芸品種。花が4月上旬と10月末頃の2回開花する。



**スダジイ**  
ブナ科の常緑高木(約25m)。5~6月に花が咲く。実は食べられる。



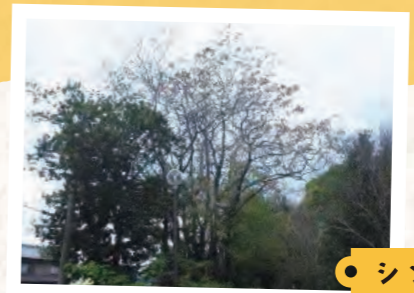
**カクレミノ**  
ウコギ科の常緑亜高木。一種。葉の形が“隠れ蓑”に似ていることから命名された。



**サルスベリ**  
ミソハギ科の落葉高木(8~12m)。サルも滑るほど、木の幹が滑らか。



**モチノキ**  
モチノキ科の常緑低木(3~6m)。6~7月に花が咲く。皮からトリモチを作る。



**シンジュ**  
ニガキ科の落葉広葉樹。成長が早いので、街路樹や公園樹、蚕の餌になる。



**メタセコイヤ**  
落葉高木。2~3月に花が咲く。高さは30~50mにもなる。



**シデコブシ**  
モクレン科の落葉小高木、ヒメコブシともいう。3~4月に花が咲く。



**キセルアザミ**  
キク科の多年草、高さは50~100cmで9~10月に花が咲く。



**アベマキ**  
ブナ科落葉高木。コルククヌギ、ワタクヌギともいう。木肌はコルク質で弾力に富む。

## 5 御船の植物



**シラヒゲソウ**  
ニシキギ科の多年草。絶滅が危惧されている。



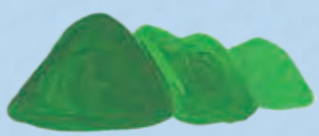
**ショウジョウバカマ**  
シュロソウ科の多年草。高さ10~20cmで3~4月に花が咲く。



**ツガ**  
マツ科の常緑性針葉樹。高さ30m、胸高直径2mに達する。



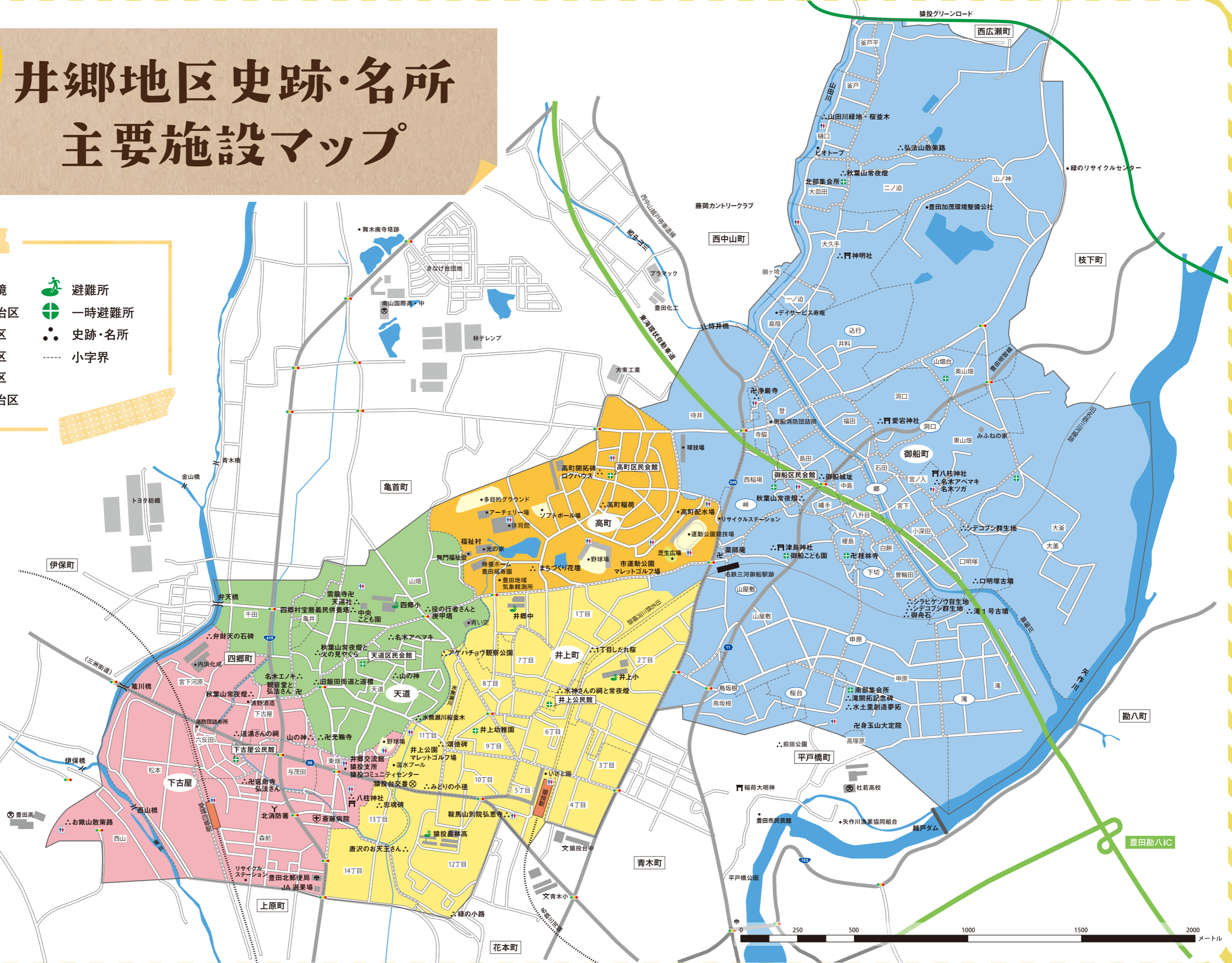
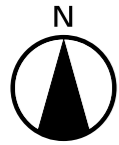
## 4 高町の植物



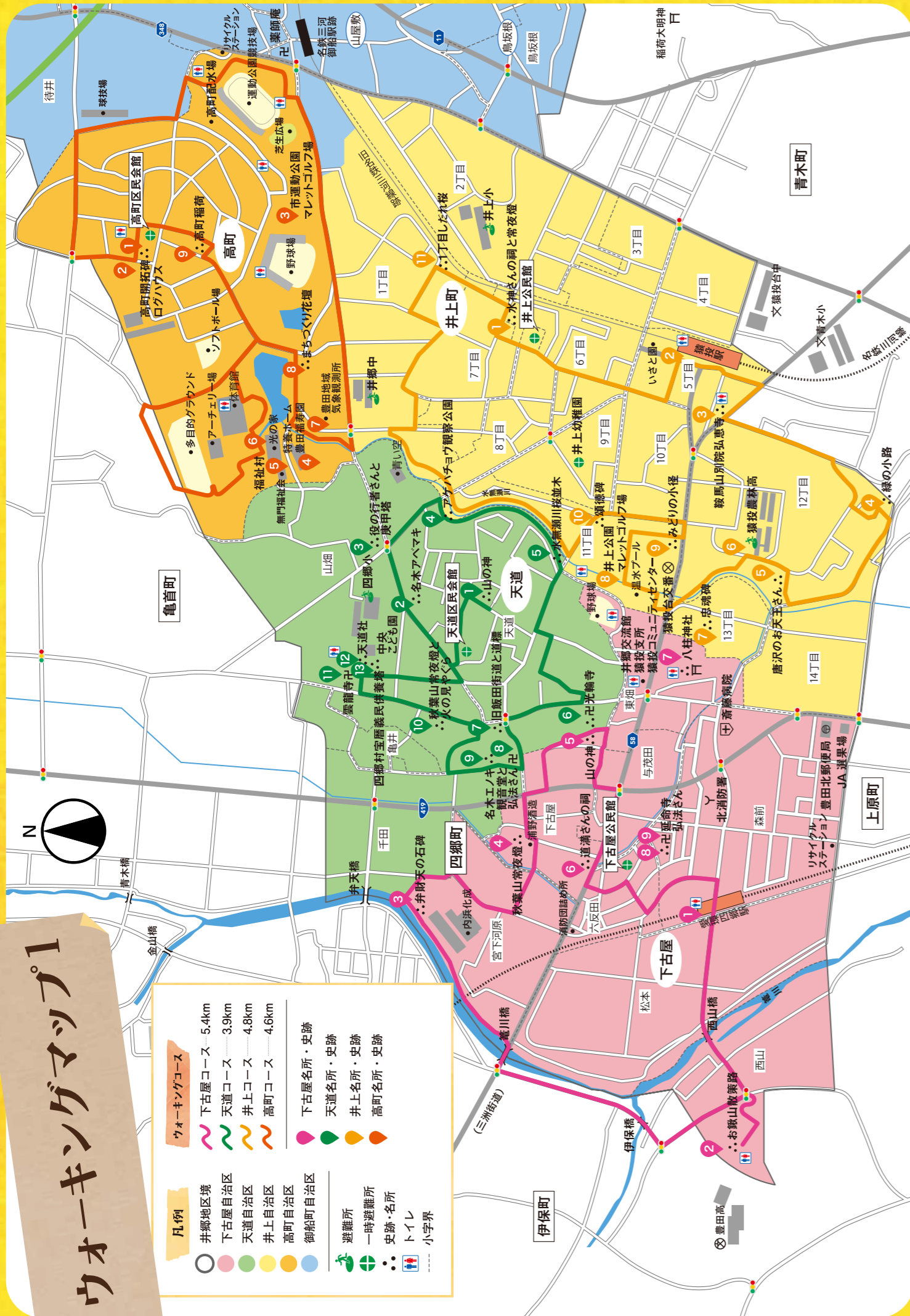
# 4

## 井郷地区史跡・名所 主要施設マップ

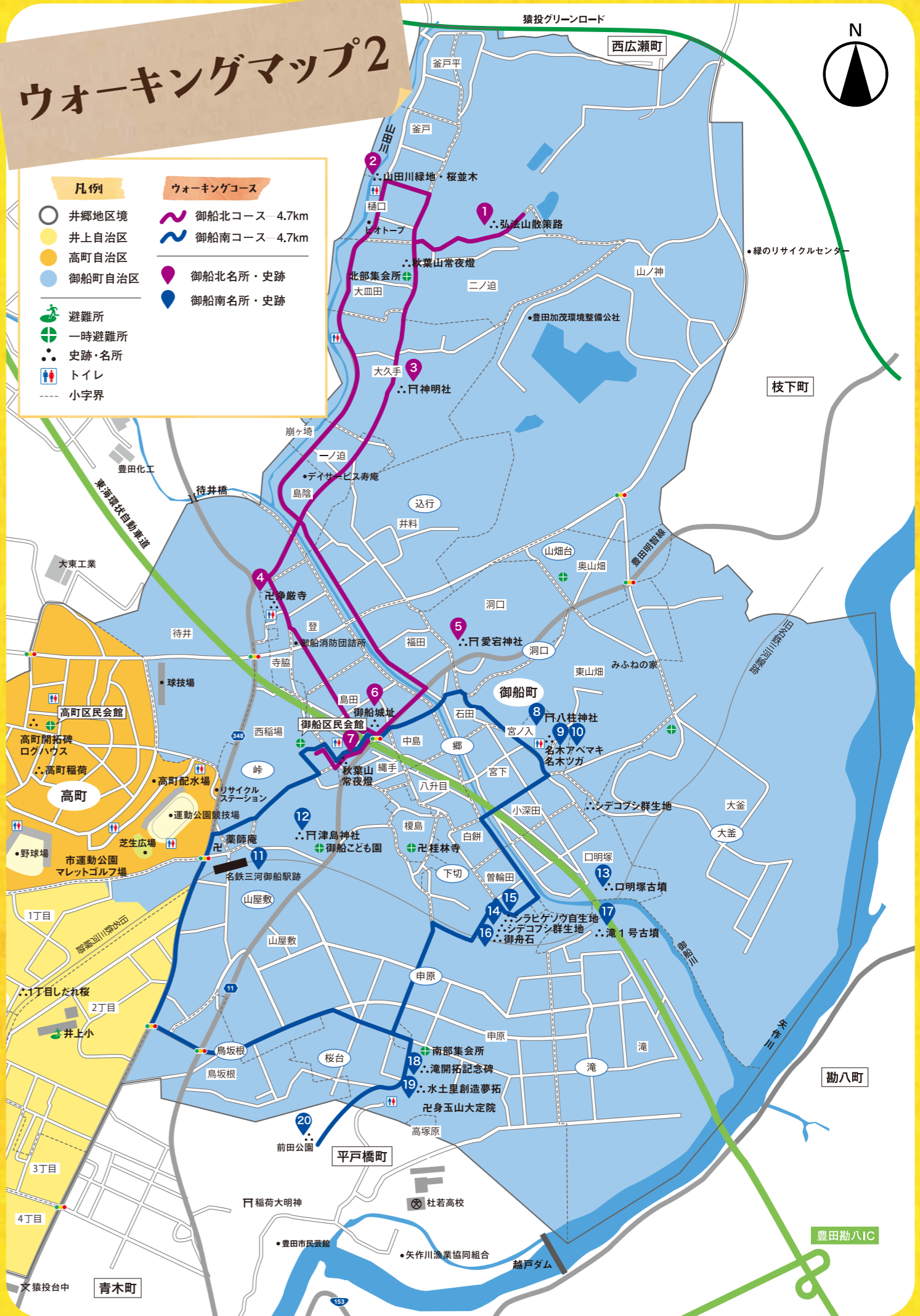
- 井郷地区境
- 下古屋自治区
- 天道自治区
- 井上自治区
- 高町自治区
- 御船町自治区
- 避難所
- 一時避難所
- 史跡・名所
- 小字界



# ウォーキングマップ1



# ウォーキングマップ2



5

# 井郷地域 医療機関

## 早川内科医院

井上町9-134-2 ☎ 45-2241

内科・循環器科

## こじま眼科

四郷町宮下河原27-4 ☎ 46-5611

眼科

## 清水歯科

四郷町千田55-3 ☎ 46-5100

歯科

## みふね 小児歯科医院

御船町洞口22-2 ☎ 45-6689

歯科

## 萩原接骨院

四郷町森前91 ☎ 45-0126

接骨院

## 医療法人 豊寿会 齊藤病院

四郷町森前200 ☎ 44-0033(代)

整形外科・内科・皮膚科・リウマチ科・  
消化器科・リハビリテーション科・麻酔科

## あんどろ耳鼻咽喉科 クリニック

四郷町千田64-1 ☎ 44-8500

耳鼻咽喉科・アレルギー科

## 四郷デンタル クリニック

四郷町森前114-1 ☎ 45-9100

歯科

## かみや歯科 クリニック

井上町5-85-3 ☎ 41-6687

歯科

## 近藤歯科医院

井上町1-80 ☎ 45-0102

歯科

## くらち接骨院

四郷町天道1-81 ☎ 46-9370

接骨院

## 牧原胃腸科外科 診療所

青木町1-8-6 ☎ 45-8684

胃腸科・外科・小児外科・  
皮膚科・肛門科

## 鈴木耳鼻咽喉科

四郷町東畑300 ☎ 45-2255

耳鼻咽喉科

## やまだ歯科

井上町11-8-17 ☎ 45-5541

歯科

## 村上歯科医院

井上町4-187-1 ☎ 45-4821

歯科

## しのざわ鍼灸療院

井上町5-138-1 ☎ 45-0289

鍼灸

## いさと接骨院

井上町4-31-1 ☎ 45-3723

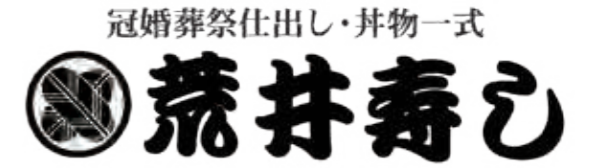
接骨院

# 出版協力店・企業

ご協力ありがとうございました。



豊田市四郷町天道20  
TEL. 0565-46-1529 FAX. 0565-46-2002  
定休日/毎週火曜日



井上3丁目 ☎ 45-3014  
FAX 46-2920

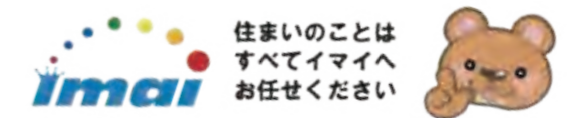
HP <https://tabelog.com/aichi/A2305/A230501/23008985>

## 豊田銘菓

花カステラ・黄金饅頭・栗の香

# 井口製菓舗

豊田市四郷町東畑83 電話 45-0315

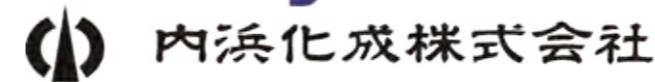


## イマイ商事株式会社

〒470-0373 愛知県豊田市四郷町千田56 FAX 0565-45-1989  
TEL 0565-45-0129  
<http://www.imaishoji.co.jp>

ものづくりを通して地域に貢献します

## Kijima



本社 豊田市四郷町宮下河原1番地  
TEL 0565(45)8621(代)  
<https://www.uchihama.co.jp/>

保険調剤 ヒノキ肌粧品

# 浦野薬局

院外処方箋FAXにて承ります  
(御来店時に処方箋を御持参下さい)

豊田市四郷町東畑311  
TEL (0565) 45-0131  
FAX (0565) 45-0544

OA機器・事務機器・スチール製品  
ゴム印・印鑑・印刷

## 株式会社 エース

〒470-0373 豊田市四郷町天道99番地115  
TEL(0565)45-8685 FAX(0565)45-8683

全国新酒鑑評会金賞受賞蔵

創業元治元年(1864年)

## 豊田の地酒 菊石

浦野合資会社醸 豊田市四郷町下古屋48  
TEL 0565(45)0020 FAX 0565(45)0098  
<http://www.kikuishi.com>



慶事 佛事 会席 生簀ふく料理

# 酒菜家

☎ 0565-46-3535

豊田市井上町5-85-5 アネックス豊田 IF

【営業時間】 昼11時30分～14時  
夜17時30分～21時(ラストオーダー)  
※日曜お昼は予約のみ承ります。

【定休日】 月曜日




人に親切! 自分に辛切! 仕事に深切!

## 印刷のスーパー サナゲ印刷株式会社

豊田市四郷町天道8番地  
TEL (0565) 45-0081(代)  
FAX (0565) 45-1861 番  
E-mail: sanagein@hm8.aitai.ne.jp

# 出版協力店・企業

ご協力ありがとうございました。



**株式会社 沢田工業**

本場 〒470-0371 愛知県豊田市御船町山ノ神 56 番地 216  
TEL.0565-45-0804 FAX.0565-45-7835  
御船工場 〒470-0371 愛知県豊田市御船町島田 52 番地  
(ISO認証取得工場) TEL.0565-46-3503 FAX.0565-45-6136

建設・土木資材販売

**三窯商事株式会社**

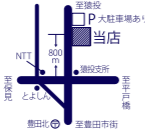
住所 〒470-0373 豊田市四郷町亀井77  
TEL 0565-45-0059

—どんなサイズでも羽毛・羊毛・真綿ふとんお仕立ていたします—

呉服・洋品・寝具の

**源 柴田屋呉服店**

〒470-0373 豊田市四郷町山畑 82  
TEL. 0565-45-0064(代)



金物屋

**彩金**

SUGIKANE

☎ 0565 (45) 6911  
FAX0565 (45) 9331

豊田市高町東山147番地9



**有限会社 鈴貴建設**

〒470-0376 愛知県豊田市高町東山4番地121  
TEL 0565-46-0319 FAX 0565-46-0335  
携帯 090-3258-3867

寿司・和食

だるま しきさいあん

**達磨 四季彩庵**

豊田市四郷町天道 89-38 TEL. 0565-45-5511  
定休日/毎週火曜日・月曜日(夜の部) <http://www.machikuru.jp/s-daruma>  
●52名までテーブル席用意できます●送迎バスございます

**平安会館**

ゆいか

**家族葬の結家**

株式会社 ちこのログループ 0120-096-927



電話：(0565)46-1550  
住所：豊田市高町東山134



**豊田實業株式会社**  
生駒生コンクリート株式会社  
株式会社イコマ(不動産)

〒470-0371 豊田市御船町大釜55番地  
TEL (0565) 44-1280(代)  
FAX (0565) 45-0238

扉1枚からマンションまで **見積り無料!!**

**住まいの塗り替え**

一級建築塗装技能士

**有限会社 ヒロ塗装**

・建築塗装  
・住宅リフォーム  
・防水工事  
・足場架設工事

☎ 0565-46-2659 ヒロ塗装

# 出版協力店・企業

ご協力ありがとうございました。

LPガス・工事・住宅設備・ウォーターサーバー

サナネットグループ店

**有限会社 マル中**



〒470-0373 豊田市四郷町天道 71  
TEL 0565-45-0266  
FAX 0565-45-0283



<https://www.mifune-lec.co.jp/>

**株式会社 ミフネ**

〒470-0371 愛知県豊田市御船町石田36-1

本社工場 〒470-0371 愛知県豊田市御船町口明塚45  
TEL.0565-45-2310 FAX.0565-46-4210  
広瀬工場 〒470-0309 愛知県豊田市西広瀬町小麦生735-24  
TEL.0565-41-3232 FAX.0565-41-3233

やまか

**仕出し 分魚店**

豊田市四郷町山畑99 TEL. 0565-45-0048  
定休日/毎週日曜日



**豊緑化技研株式会社**

〒470-0372  
愛知県豊田市井上町 8丁目 116番地

TEL 0565-45-0335(代)  
FAX 0565-45-0349

五十音順

## 編集後記

この度、多くの皆様にご協力をいただき平成 22 年に発行した「井郷便利帳」をリニューアルし、名称を「井〜郷 ぐるっと 見て歩き」に改め発行することができました。本書は、私達の故郷「井郷」を地域の皆様により深く知っていただくために、初版の「井郷の今昔見て歩き」から第 2 版の「井郷便利帳」に続き、今回の発刊となりました。

内容も、これまでの先人たちが残してこられた史跡・名所や住民の活動で作り上げた新たな名所、そして地域の方々が安心・安全に楽しく生活するために必要な各種施設やウォーキングコースマップに加え、新たにこの地域の動物・植物を掲載しました。本書がさらなる住みよいまちづくり・地域づくりや皆様の生活ガイドブックとして少しでも利用していただければ幸いです。

最後に、編集・発刊にあたりご協力いただいた多くの皆様にお礼を申し上げます。

## 編集委員

- |        |                 |       |
|--------|-----------------|-------|
| 下古屋自治区 | 浦野 憲治           | 梅村 孝義 |
| 天道自治区  | 倉地 光二           | 小栗 一夫 |
| 井上自治区  | 梅村 輝            | 小野 知司 |
| 高町自治区  | 安藤 修史           | 熊谷 謙蔵 |
| 御船町自治区 | 近藤 善房           | 澤田 数衛 |
|        | 梅村 隆            | 山崎 良兼 |
| 青木町    | 山原 勇雄 (豊田植物友の会) |       |





令和2年12月1日

編集発行 井郷まちづくりプラン推進会議  
井郷便利帳編集(改訂)委員会  
(令和元・2年度井郷わくわく事業)

協力 豊田市 猿投支所  
豊田市 矢作川研究所  
豊田市 自然観察の森

デザイン 株式会社こいけやクリエイト  
印刷 サナゲ印刷株式会社

